

# たちかわ市議会だより

第285号

平成24年(2012年)10月25日発行

主な内容

- 決算特別委員会……2～3面
- 一般質問……4～6面
- 委員会の活動……7面
- 陳情、議案の賛否……8面

編集・発行 ©立川市議会 〒190-8666 立川市泉町1156-9 電話 (042)523-2111(代表) 創刊/昭和29年12月9日 発行随時/全世帯配布 ◀立川市ホームページ▶http://www.city.tachikawa.lg.jp/



バス遠足 ～羽村市動物公園～ (高松保育園)

## 平成23年度決算を認定 子ども未来センターの 指定管理者を決定

- 「平成23年度立川市一般会計歳入歳出決算」を含む市長提出の20議案を可決・認定・同意
- 25名の委員からなる決算特別委員会を設置し、4つの分科会を設けて平成23年度各会計決算の審査を行う
- 「立川市立第九小学校体育館防音対策に関する陳情」など陳情3件を採択
- 20名の議員が市政全般にわたり、一般質問を行う

### 立川市議会政治倫理審査会 委員が決まりました

会長	秋山 努 (有識者)	副会長	石川 譲 (有識者)
委員	齋藤 博 (市民)		小林 浩 (市民)
	川村 博 (市民)		稲橋ゆみ子 (議員)
	小川あきこ (議員)		山本みちよ (議員)
	清水 孝治 (議員)		

**政治倫理審査会とは**

議員が、条例で定める政治倫理に違反していると認められ、市民などから調査請求があった場合、議長の要請に基づき審査します。

### 常任委員会及び議会運営委員会の 委員長、副委員長が決まりました

7月25日に開催された委員会で、下記のとおり選任されました

	委員会名	委員長	副委員長
常任委員会	総務	永元須摩子	小川あきこ
	厚生産業	大石ふみお	古屋 直彦
	環境建設	伊藤 幸秀	梅田 春生
	文教	木原 宏	山本みちよ
	議会運営委員会	須崎 八朗	伊藤 大輔

**人事紹介**

9月28日の本会議で、立川市教育委員会委員の選任について同意しました

立川市教育委員会委員

▶小町 邦彦 氏  
府中市府中町在住

**◆会議の経過◆**

- 9月28日 本会議
  - 9月27日 議会運営委員会
  - 9月25日 特別委員会
  - 9月24日 特別委員会
  - 9月21日 立川まちづくり文教委員会
  - 9月20日 環境建設委員会
  - 9月19日 厚生産業委員会
  - 9月18日 総務委員会
  - 9月11日～14日 決算特別委員会
  - 9月10日 議会運営委員会
  - 9月4日～10日 本会議
- ～会期25日間～

# 決算特別委員会

## ◆決算特別委員会委員◆

◎…委員長 ○…副委員長

- |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| ◎梅田 春生 | 木原 宏  | 岩元喜代子 | 大沢 豊  |
| ○山本みちよ | 古屋 直彦 | 大石ふみお | 田中 清勝 |
| ○安東 太郎 | 中山ひと美 | 五十嵐けん | 太田 光久 |
| 稲橋ゆみ子  | 須崎 八朗 | 永元須摩子 | 堀 憲一  |
| 小川あきこ  | 福島 正美 | 堀江 重宏 | 中島 光男 |
| 伊藤 大輔  | 伊藤 幸秀 | 上條 彰一 | 清水 孝治 |
| 高口 靖彦  |       |       |       |

議員25名を委員（議長、監査委員及び決算の代表質疑を行った議員を除く全員）として、4つの分科会を設置し審査を行いました。審査の結果、平成23年度一般会計決算及び後期高齢者医療事業決算を賛成多数で、その他の特別会計決算については全会一致で認定すべきものと決しました。



梅田 春生 委員長

### 工業者への支援を



古屋 直彦 (たちかわ自民党)

**問** 立川工業会は様々な業種あるいは高度な技術にまつた会社もあり、非常に特許を持った会社もあり、非常にまとまっていて団結力があります。このような時代なので、それぞれの会社も経営的に大変だと思えます。本市においては商業者や農業者には様々な施策を通じた支援がありますが、工業者への支援は限られています。市の産業全体の活性化を考えた場合に不公平感を感じる恐れがあり、市はいろいろな細かい情報交換などを行い、支援して頂きたい。

**答** 今年度に入ってから、工業会の理事会や会長の話をしていくと何う機会を設けています。工業施策といったところでは、立川は様々な業種が集積しているという利点があります。今後のものづくりのあり方、市としてどのような支援が必要であるのかというところを、現在模索している状況です。引き続き、工業会を含めて、工業関係者の話を聞きながら、具体的な工業施策に反映できるように、現在、研究を進めているところです。

### 健診の

#### 受診率の向上を



岩元 喜代子 (公明党)

**問** 妊婦歯科健診は生まれ大きな影響を与える健診ですが、受診率が大変低くなっています。受診しやすければ、意識のある母親は健診を受けに行くと思

いますので、ぜひ受けやすい環境を作り、多くの方に受診して頂きたい。また乳幼児健康診査事業をみても、未受診者が大変多いと感じます。受診率は90%を超えているものの、人数にすると100人を超える子どもが健診を受けていませんが、対応状況を伺います。

**答** 妊婦歯科健診は年に6回、健康会館で実施しています。受診者数が大変少なく、実施方法について歯科医師会と協議を重ねており、今後は歯科医院で行う個別健診を実施する方向で検討しています。また乳幼児健診の未受診者については、受診勧奨の通知を出し、健診を受けるよう勧めています。それでも未受診の方には、保健師が訪問や電話等で状況把握を行い、連絡が取れない方にはアンケート用紙を投函し、郵送による連絡を頂いています。



ご機嫌です♪

### 砂川中央地区まぢづくりは



須崎 八朗 (たちかわ自民党)

**問** 砂川中央地区まぢづくりについては、6割以上の人が進めるべきであるというアンケート結果が出ています。

**答** しかし、具体化に向けて機運を高めるような取り組みをしていきたいと言っているにも関わらず、戸別訪問はたったの1回しか行っていません。当初、市長の公約にもあった項目であり、この空閑地をどうにかしたいということは、地元の議員だけではなく、本市の議員の皆さんが思っていることだと考えますが、見解を伺います。

**答** 砂川中央地区のまぢづくりについては、地権者の方々の意見は総論では賛成でほぼ一致していると考えています。しかし、各論になると、長い間歴史を背負ってきた地域なので、心の整理がつかないのだらうと推察できます。来年の春、ファーマーズセンターが開設しますので、一つの大きな推進力になっていくのではないかと期待しています。本市の将来にとって大きな課題であるというところは承知しており、解決に力を注いでいきたい。

### 見影橋公園シャワーの延長を



木原 宏 (たちかわ自民党)

**問** 見影橋公園内のシャワーの動作スケジュールをみると、15時50分で終了しており、もう少し長く動かして欲しいという要望を多く受けます。近隣他市の市民プールなどは概ね17時までには開いています。見影橋公園はもともとプールのあった場所であり、水に親しめるということが出発点で公園整備が始まっていることから、17時ぐらいまで動かせないでしょうか。また、現在5分動作して15分停止していますが、もう少し長く水を出せないでしょうか。

**答** 見影橋公園のシャワーについては、現在、9月第2週まで水を出しています。暑い日が続くと、もう少し延ばしてほしいなどの声を頂いています。またセンサーを配置しており、雨が降った日や温度によって出さないというような調整をしています。今年には特に暑いこともあり、期間の延長や時間の延長といった要望が来ているものだと考えます。また、動作間隔についても意見を頂いています。ぜひ前向きに検討していきたい。



市民の大切な足です

### 交通不便地域の見直しを



中山 ひと美 (たちかわ自民党)

**問** 今までバスが通っていないのに、様々な事情でバスが通らなくなった地区などは交通不便地域の一つではないのでしょうか。曙町は便利そうに見えますが、影に隠れた不便な地域があります。また栄町の自衛隊の官舎の裏の方もバスが走っていません。これから市民サービスのために、赤字になってもコミュニティバスを運行するといいことであれば、このような場所にもバスを運行し、

**答** 公平にサービスを受けたいと求めますが、見解を伺います。交通不便地域は平成14年6月に設定しております。すでに10年経過しています。市役所の移転後、立川通りを通っていた路線バス網の一部が、現市役所のある基地跡地経由になっています。また南口の旧奥多摩街道の路線が減っており、路線がなくなってしまうという危機感をバス事業者から聞いているなど、基本となる交通不便地域の変化を検証する時期にきていると考えます。今後は全体の見直しに向けた考え方について整理していきたい。

### 心の痛みを 受け止めて



安東 太郎 (安進会)

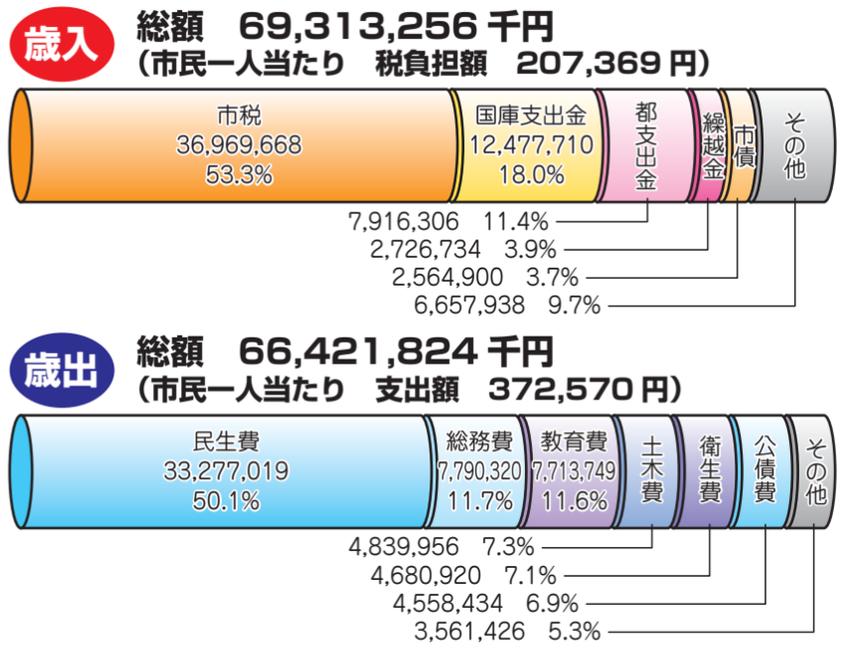
**問** 教育相談について、より質の高い相談活動が行えるよう研修・事例研究に取り組んだとのことですが、どのような内容だったのでしょうか。本市では、これから特別支援教育に一層の力を入れていくという方針があるので、それぞれの子どもたちの気持ち、また保護者の気持ちも酌み取り、小さな胸の中にあるその心の痛みをしっかりと受け止めて、いま起こっているような様々な問題の解決に市としてきちんと取り組んで頂きたい。

**答** 教育相談の関係で東京小児療育病棟の先生に毎月1回、医者の立場から実際の子どもの事例に沿った講演をして頂いています。また発達障害やLDなど、それぞれに強い臨床心理士や医者を招き、研修会を実施しています。学校との連携は、具体的な事例について該当の子がいる場合、その担任

が、ぜひ受けやすい環境を作り、多くの方に受診して頂きたい。また乳幼児健康診査事業をみても、未受診者が大変多いと感じます。受診率は90%を超えているものの、人数にすると100人を超える子どもが健診を受けていませんが、対応状況を伺います。

### 平成23年度一般会計歳入・歳出決算状況

平成24年4月1日現在人口 178,280人(外国人登録含)



## 公明党

### 市民生活向上のための 施策実行を

- ▶自動交付機の発行手数料を引き下げ、前年度比で利用者が倍増したことを高く評価します。
- ▶ファーマーズセンターの開設準備に着手し、農業振興を具体化したことを高く評価します。
- ▶経常収支比率を去年より3.5ポイント改善し、財政調整基金を7億円積み増して、市債も年々減らしていることに並々ならぬ努力を感じます。

## たちかわ自民党

### 財政収支を黒字にしたことを 大いに評価

- ▶戦略的な経営方針の確立、環境問題への対応、子育て支援に重点的に取り組んだことを評価します。
- ▶都市劣化への対応を特別枠として設定し、積極的に取り組んだことを評価します。
- ▶限られた行財政資源を最大限有効活用し、市民の厳しいニーズにも創意工夫を持って対応して、適正に執行したことを大いに評価します。

## みどり立川

### パーソナルサポートの 取り組みを

- ▶エコセメント事業は中止すべきです。
- ▶身体障害者手帳5、6級の人々の手当を廃止したことは、障害者福祉の後退です。

## 立川・生活者ネットワーク

### 次世代へつなげるための 財源確保を

- ▶スクールソーシャルワーカーの導入を評価します。
- ▶保育園、小中学校の給食の食材検査、空間線量の測定、土壌の除染と迅速な公表を評価します。

## 問



清水 孝治 (たちかわ自民党)

### 公共施設の 芝生の管理

立川公園野球場の芝生が、来年の国体を待たずに枯れてしまっています。芝生のある公共施設を大別すると、公園、学校、スポーツ施設になるとありますが、業者が管理している立川公園野球場や新生小学校などの施設以外で、芝生を適正管理することは非常に大変だと思います。体育協会でも芝生の管理の仕方を大分研究しているとのことですので、共同管理という考え方も視野に

の先生やコーディネーター、校長先生に声をかけて出席して頂いており、一般的に困っていることに関して研修の先生と一緒に相談に乗って頂いています。

## 問



五十嵐 けん (市民の党)

### 入札制度の見直しを

円ほどであり、経費の節約につ

落札率低下による落札差金は8年間で約48億

が効率的ではないでしょうか。立川公園野球場は本格的な球場であり、造園業者に委託して年4回芝を刈っています。市内の公共施設の芝生は、管理運営している施設にお願いしていますが、芝の程度も様々で、芝なのか雑草なのかわからないような状況もあるかと思えます。少なくともスポーツ振興課の管轄の立川公園、野球場、陸上競技場については、競技をするだけではなく、競技を見るスポーツ施設だと考えていますので、今後そのようなところも含めて検証していきたい。

## 答

小中学校の空調工事は、震災の影響による資材の高騰や、多摩地区の他の自治体でも同時期に空調工事があったことによる需要と供給のバランスなどにより、落札率が高かったものと認識しています。入札等監視委員会では、実際に参加している事業者が少なく、競争性が十分ではなかったため、入札制度には完璧な制度はないといわれているので、有識者の

ながつています。しかし市内業者に分割発注した小中学校のクーラー設置工事は、平均落札率が98・26%、99・75%と非常に高い状況です。都内案件として入札した、空調工事が大部分を占める泉市民体育館の改修工事は、73・57%と大変競争性が働いています。このような状況を続けるのであれば、発注方法を工夫して見直す必要があるのではないのでしょうか。

## 民主・市民フォーラム

### 生活者第一の 住民サービス向上を

- ▶国民健康保険料の改定を見送ったことを高く評価します。
- ▶猛暑対策として全小中学校の普通教室等に空調機を設置したことを評価します。
- ▶子育て支援、安心・安全対策、健康づくり等は誰もが望んでおり、環境保全、都市劣化対策、ごみ減量と清掃工場移転等は市民の意識の高まりを感じています。

意見も聞きながら今後の入札に取り組んでいきたい。

## 日本共産党

### 厳しい市民の暮らしと 営業を守るべき

- ▶鉛汚染されている土地に、新学校給食共同調理場を建設することは安全性について懸念されます。
- ▶西砂保育園では民営化後を含め7名の職員が退職するという異常な状況であり、これ以上の公立保育園の民営化はやめるべきです。
- ▶国営公園南線横断デッキや武蔵砂川駅北側地区南北街区幹線1号の整備等は急ぐ必要はありません。

## 市民の党

### 貧困の連鎖を断ち切るための セーフティネットを

- ▶強引な西砂保育園の民営化は認められません。
- ▶家庭ごみを有料化しなくてもごみの減量は十分に可能で、家庭ごみの有料化方針は撤回すべきです。

一般会計決算に対する討論(要旨)

# 一般質問 要旨

## 市政の内容を聞く

★…一問一答方式

- 1 大石 ふみお(民主・市民フォーラム)
  - ① 交通結節点改善対策について
  - ② 防災対策の充実・強化について
  - ③ 健康維持対策について
  - ④ 買い物弱者(難民)対策について
- 2 伊藤 大輔(民主・市民フォーラム)
  - ① 立川市の教育
- 3 浅川 修一(日本共産党)★
  - ① 景気対策及び市内業者や労働者への支援等について
  - ② 防災対策について
- 4 中島 光男(公明党)
  - ① 立川のまちづくりについて
  - ② 高齢者が安心・安全に暮らせるために
  - ③ ごみ問題について
  - ④ 駐輪場対策について
  - ⑤ 残堀川の維持管理について
- 5 木原 宏(たちかわ自民党)
  - ① 立川市の交通問題とまちづくりについて
- 6 小川 あきこ(民主・市民フォーラム)★
  - ① 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

- 7 高口 靖彦(公明党)★
  - ① 子ども達に関する問題について
  - ② 立川市の歴史・文化について
  - ③ 自然環境について
  - ④ 駐輪場整備について
  - ⑤ 防災に関わる公共工事について
- 8 太田 光久(民主・市民フォーラム)
  - ① 福祉施策の推進について
  - ② 教育施策の充実について
  - ③ 交通対策について
- 9 永元 須摩子(日本共産党)
  - ① 清掃行政について
  - ② 子どもたちや高齢者に優しい道路や交通手段について
- 10 福島 正美(公明党)★
  - ① 孤立死防止の為に見守り体制について
  - ② 家庭福祉員制度の充実について
  - ③ 駅東西の地下道を活用したまちづくりに関して
- 11 山本 みちよ(公明党)★
  - ① 立川市平和都市宣言20周年を迎えて
  - ② 「健康都市 たちかわ」の実現に向けて更なる予防体制の確立を
  - ③ 「自転車をいかにまち たちかわ」について
- 12 堀 憲一(公明党)
  - ① まちづくりについて
  - ② 空き家対策について
  - ③ スポーツ振興について
  - ④ 入札・契約制度について
- 13 中山 ひと美(たちかわ自民党)
  - ① まちづくりについて
  - ② いじめは「早期発見」が重要
  - ③ 道路の安全確保について
- 14 伊藤 幸秀(公明党)
  - ① 精神障がい者(児)支援について
  - ② 中学校の学校給食について

- 15 田中 清勝(民主・市民フォーラム)★
  - ① 財政と行財政改革について
  - ② 平成24年各部の運営方針について
  - ③ 若者の貧困格差について
- 16 上條 彰一(日本共産党)★
  - ① 大型商業施設の進出に伴う問題について
  - ② 農のあるまち立川への施策について
- 17 稲橋 ゆみ子(立川・生活者ネットワーク)★
  - ① ごみ減量へむけた取り組みについて
  - ② エネルギーの地産地消を目指したまちづくりについて
  - ③ よりよい「まちづくり」をすすめるために
- 18 堀江 重宏(日本共産党)
  - ① 高齢者等の「孤立死」を防ぐ対策の充実について
  - ② 米軍横田基地の問題について
- 19 五十嵐 けん(市民の党)★
  - ① 家庭ごみを有料化せずにごみを減量する第三の道を!!(拙速な家庭ごみ有料化方針の撤回・見直しを!!)
  - ② 原発ゼロ、脱原発へ、立川市ができることは何か
  - ③ 東京電力への賠償請求について
- 20 大沢 豊(みどり立川)★
  - ① 生活保護受給者の支援について
  - ② 共通番号制の導入について

○議長、副議長及び監査委員は一般質問を行っていません。



### 住宅リフォームに直接助成を

研究・検討していきたい  
浅川 修一(日本共産党)



**問** 住宅建築資金等利子補給制度は住宅のリフォームにも使える制度ですが、最近の利用実績はありますか。一方、全国の自治体の約3割では、住宅リフォームに直接助成をする制度があり、非常に大きな経済波及効果があるとのことです。市では長年住宅のリフォームに対して利子補給をする助成制度を続けてきましたが、行き詰っています。全国で利用され、効果のある直接助成をする制度の導入を検討すべきだと思いますが、見解を。

**答** 住宅建築資金等利子補給制度は、過去に6名の利用があっただけで、最近の利用実績がありません。ある制度を廃止・休止する場合はそれに代わる市民の方が利用しやすい制度をあわせて検討する必要があります。本市としては現行の利子補給制度を運用していく方向で考えていますが、住宅リフォームに関する直接助成制度を導入することについては、他市の状況等も勘案しながら研究・検討していきたい。

### より実践的な防災訓練を

検討していきたい  
大石 ふみお(民主・市民フォーラム)



**問** 市民にとって最も身近で、多くの市民が参加する地域の防災訓練の内容を充実させ、実践に即した訓練に転換し、災害対応能力を向上させる必要があります。そこで、夜の時間帯を想定した夜間防災訓練や防災キャンプ、シエイクアウト訓練などの実践的な訓練を実施することが必要であると考えます。地域の自主性を担い、指導や助言をすることが重要だと考えますが、見解を伺います。

**答** 地域防災訓練は、自治会連合会の各支部主催で実施しており、日中の想定で行っています。現在、より実践的な内容とすることに優先的に取り組んでおり、この訓練内容が浸透した後は、先進的な事例を参考に日中以外の時間帯における訓練の実施を検討したい。また防災キャンプについては、災害発生時に自分の命を守り、身近な人を助け、地域の防災活動に貢献できる、自助・共助の心の育成に有効であり、検討していきたい。

### 清掃工場移転場所を先に示すべき

十分配慮したい  
中島 光男(公明党)



**問** 清掃工場の3基の焼却炉のうち、1号炉と2号炉が大変老朽化しているため、3号炉の負担をできるだけ軽減する必要があります。そのため、ごみ減量をどうしても行う必要があることから、清掃工場の移転問題がごみの有料化に大きく絡んでいきます。ごみ有料化の条例改正をするのなら、その前に清掃工場の移転場所を明確に示すべきであり、示せないのであれば、ごみ有料化を先送りすべきだと考えますが、見解を伺います。

**答** 家庭ごみ戸別収集・有料化基本方針案説明会では、約340名の市民に参加いただきました。約53%の方が説明会の趣旨は理解できたと回答しており、ごみ減量の必要性和有料化について概ね理解を得られたとの感触を持っています。今後は条例改正など必要な手続きを進めていきますが、以前から清掃工場の移転候補地を今年度末までに明示したいと答弁しており、十分配慮していきたい。

### 生きる力を育む教育を

今後の方向性探る議論を深める  
伊藤 大輔(民主・市民フォーラム)



**問** 現在の教育の大きな流れの中で、和式トイレの洋式化の例のように、使いにくいから排除という論調がありますが、使えないなら使えないのに教えるという観点を持つてもよいのではないかと。また、授業数の増加等で生じる問題の解決方法の一つとして、長期休暇の日数の見直しがあります。長期休暇にも大切な意義はありますが、日数削減によってメリットが生じるならば、検討していくべきではないかと考えますが、見解を伺います。

**答** トイレの教育の例のように、困難や危険と向き合うに当たって、子どもたちが持つ知恵と力を活用し、課題を克服し、自信を深め、身を持って学ぶということは、大きな意味があると考えています。教育課程の編成については、学校長の申請により許可していることありますが、全市的にどのような活動を展開していくのかを研究・協議することに、大きな意義があると考えています。